

アリヤいらぬ水までコリヤ汲みに出たよ　アリヤシ
ヤカホイシャーカホーリキヤデ　ホイホイホイホイ
ハアどれもどなたもおうたいなされ

歌じや御器量がさがりやせぬ　シャカホイシャカホ
ーリキヤジャ　ホイホイホイホイ

二 酒盛歌・祝い歌

伊勢音頭

姉さん嫁入りはいつ頃か

正月過ぎて春過ぎて

菜種の花の咲く頃よ

たんす七竿ひつ八竿

内証金が三百両

これ程仕立ててやるからは

家へ向いて帰るなよ

それは母さんそりや無理よ

西が曇れば雨とやら

東曇れば風とやら

北が曇れば雪とやら

たとえ南があくとても

沖で暴風あるときは

もとの港へ帰りくる

去年生れたうぐいすが

今年はじめて伊勢参り

お伊勢へ参っても宿がない

梅の木小枝に宿とつて

梅を枕に法華経誦む

お杉やお玉のひくしやみは

一文やらんせ放らんせ

親の御恩は忘れても

あなたの御恩は忘りやせぬ

ほう　ほう　蜚こい

あっちの水は苦いぞ

こっちの水は甘いぞ
ほう ほう 蛭こい
蛭こんにゃぶんぶんこい

お月さん何ぼ 十三、七つ

まだ年や若いよ

油買うてあげようか

何にもいらん

銭と金がほしいよ

新保広大寺

新保広大寺しんぼこうだいじにゃ腰びくに魚籠いさごさげて

前の小川に泥鰌どろいすくいに

三 わらべ歌

この前を猿が三匹通る
どの猿も物知らず

一番真中の小猿めが
よう物知って

日本国中飛び歩いて

いわしを三匹拾うて

煮て食うても塩からし

あんまり塩がかるうて

前の田んぼに飛び込んで

水を一杯のんだれば

あんまり腹が太って

鐘撞堂へ上って

屁をぶりぶりひつたれば

鐘撞堂がゆるいで

大きい坊主は泣きやある

小こまい坊主は笑やある

泣きやんな笑やんな

明日あしたの市で

土産を買うて参らんしょ

土産の中に織管が一つ